

平成 27 年度

(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会

第 8 回理事会

日時 平成 28 年 2 月 2 日 (火)

午後 3 時 15 分～午後 5 時 20 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 27 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 8 回理事会

日 時 : 平成 28 年 2 月 2 日(火) 午後 3 時 15 分～午後 5 時 20 分

場 所 : (一社)静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名 (理事 18 名・監事 2 名)

三宅和秀 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司 稲村義男 山田哲司

杉澤きよ美 井川千春 都築農夫志 市川千津子 川口貴子

清水憲雄 伊藤喜章 豊田次郎 新村喜明(書記) 榛葉智之(監事)

(16 名/全 20 名中 うち理事 15 名/全 18 名中)

欠席者 : 三原利仁 梶間弘美 加藤智行 渡辺時治(監事)

議長及び議事録署名人選出

議 長 三宅和秀

議事録記名人 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司

榛葉智之(監事)

議題

1. 前回議事録確認
2. 常務理事会報告
3. 宮島会長挨拶・選挙関連 (p 1)
4. 各部報告・審議事項
  - ・ 広報部 (別冊 p 1～)
  - ・ 組織部 (別冊 p 3～)
  - ・ 学術部 (別冊 p 12～)
  - ・ 会計部 (別冊 p 37～)
  - ・ 事務局 (別冊 p 42～)
5. 臨薬協 プロモーション地区会 (p 29)
6. 祝賀会、式典、集いなど (p 31～)
7. その他(病院協会、案内、イベント)
  - ・ 予定表 (p 51)
  - ・ 会員異動 (p 52)
  - ・ その他

次回理事会 (平成 28 年 3 月 29 日 書記: 都築理事)

## 議題

### 1. 前回議事録確認（伊藤事務局長）

- ・議事録は滞りなく進行しており、第7回理事会議事録は本日榛葉監事の署名、捺印をもって完成となる。

### 2. 常務理事会報告（三宅会長）

#### ① 日臨技臨時総会報告（三宅会長・伊藤事務局長）

##### 資料より説明

- ・平成28年1月23日に日臨技臨時総会が無事に開催され、日臨技より総会成立の協力お礼のメールが届いた。それを受けて、静臨技会員に総会成立の協力お礼の文書を会報にて配信した。
- ・議案は会員43,490名の3分の2以上76.42%の回収率で承認された。
- ・静岡県技師会は議決権行使数1,387、86.74%の結果であった。票数としては全国10位、中部6県では石川県に次いで2位であった。
- ・次回の日臨技定時総会は6月18日に開催予定である。
- ・今回、書面表決・電磁登録で未受領があった施設には更なる協力をお願いする。
  
- ・日臨技臨時総会では、日臨技の代表理事が会長1名であり、不測の事態に対処できないことから、代表権を持つ副会長を3~4名置くこととした。
- ・監事の報酬額が明確でなかったが、120万円/年ということで承認された。

#### ② 県学会・総会関係（稲村常務理事）

##### 資料より説明

- ・前回の理事会で学会タイムスケジュール（案）を提示したが、宮島日臨技会長は県学会当日に執行理事会および日衛協の決起集会が予定されているため、スケジュール案を修正した。
- ・宮島会長には到着次第（会員交流会の冒頭）ご挨拶をしていただくこととする。
- ・会場小ホールは、受付、役員詰所、立食形式の会員交流会として活用したい。
- ・一般演題の募集は1月18日から2月19日として2月会報に掲載するが、締切りを2月末に延長することを考慮している。西部2題、中部2題、東部3題、学生（静岡医療科学大学）1題をお願いしたい。
- ・ランチョンセミナーは4社を予定したい。メーカーの決定は申込み後になるが、応募多数となれば過去未実施の企業を優先とする。
- ・ランチョンセミナーの趣意書、申込書は本日理事会にて承認されれば賛助会員であるメーカー宛、早急に送付したい。

→ 承認

早々に配布することとする。

- ・ 県学会総会委員として議長 2 名、書記 2 名、議事運営委員 6 名をこれから選出する予定である。今回は役員改選があるので、早急に決定しないとシナリオ等の作成が大変になると予想される。
- ・ 会費は例年通り 2,000 円、事前受付は「有り」としたい。
- ・ シンポジウム等の詳細は検討中である。
- ・ 石井先生による寄生虫症の特別講演には漫画を取り入れた講演をお願いする。

③ 合同支部会、賀詞交歓会について（山口副会長、伊藤事務局長、豊田会計部長）  
資料により説明

- ・ 開催日時        2/13（土）        15：30～20：00
- ・ 場所                アブリノスケ
- ・ 参加費            6,000 円

※ 理事は 14：30 会場集合。山口副会長、菌田副会長、稲村常務理事、新村理事は静臨技旗、横断幕、パソコン等の荷物運び出しのため 14：00 に静臨技事務所集合。

- ・ 本日理事会終了後に会場の確認に行く。
- ・ 『静臨技 合同支部会』および『静臨技 賀詞交換会』実施計画案を作成した。
- ・ 役割（会場、受付、会計、進行）を分担したので各自確認していただきたい。
- ・ 参加者名簿（会員 52 名、賛助会員 64 名）を添付した。
- ・ 組織強化セミナーは『医療情勢と臨床検査技師の今後のあるべき姿について』の内容で宮島日臨技会長に講演いただく。
- ・ 選挙に関連する話は賀詞交歓会の中で行う。
- ・ 式次第の中で、日衛協中部支部長の横山氏に挨拶と乾杯の発声をお願いする。
- ・ 賛助会員の挨拶は歓談の中で、代表者ではなく全員に発声していただく。
- ・ 締め挨拶は菌田副会長をお願いする。
- ・ 鈴木副会長に進行表を作成していただく。
- ・ 当日の交通費の支払いをスムーズに行える様、参加会員の最寄駅、運賃を事前に調査伝達しておく。（支部長他より会計部長に連絡する。）
- ・ 宮島日臨技会長は翌日に奈良県へ移動、その後 3 日間三重県の施設に挨拶回りをする予定である。
- ・ 愛知県はすでに挨拶回りが終了しており、静岡県もいずれ挨拶回りがあると思われる。その際は、可能な施設には協力をお願いしたい。

#### ④ 検査のひみつ展関連（三宅会長）

資料により説明

- ・協和医科器械とディスタンスよりメディメッセージ 2015 のお礼があった。
- ・メディメッセージ 2015 の DVD1 枚と写真集が 2 部あるので確認していただきたい。
- ・次年度のメディメッセージは開催しないとのことである。
  
- ・検査のひみつ展を単独で開催する場合の費用はどの程度なのか、参考として第 1 回（2013 年）開催時の会場費の見積もりをディスタンスに提示してもらったところ約 300 万であった。（交通費等込みで約 400 万円）
- ・予算として 100 万円程度（日臨技からの補助 50 万円と、交通費として計上している 50 万円）は予定できそうであり、積立金が 100 万円あるので最大 250 万円まではなんとかかなりそうな感もある。開催場所等を考慮しながら検討する。
- ・ショッピングモール等の集客が容易な場所で、事務所程度の大きさの部屋で行えば経費や効率が良いと思われる。
- ・現在、ディスタンスにドリームプラザ、マークイズ、アピタ等と相談してもらっている。3 月の理事会で開催できそうな場所を報告できると思われる。

#### ⑤ 静岡医療科学専門学校より（三宅会長、伊藤事務局長）

- ・静岡医療科学専門学校（現：静岡医療科学専門学校）より日本臨床検査教育協議会学術大会、医学検査学会、オープンキャンパス等で演題発表したい旨の問い合わせがあった。
- ・中部圏学会、メディメッセージや減塩プロジェクトに参加して、静臨技および現場の技師と関わるにより得られた多くのことを是非発表したいとのことである。
- ・技師会としては、一病院の関連施設に対して後援はしない。育成に関する協力はする。関わりは今後も必要である。
- ・理事会で検討して報告すると返事をしてあるので、審議願いたい。
  
- ・学校として地元技師会との関わりについての演題発表のお願いについて。  
→ 承認

#### 3. 宮島会長挨拶・選挙関連（山口副会長）

資料により説明

- ・宮島喜文後援会は政治資金団体であり、連盟の静岡支部として設立したが収支については政治資金規正法に則って計上しないとならない。
- ・静岡県選挙管理委員会主催の政治資金規正法講習会があったので、山口副会長、豊

田会計部長、市川理事が参加した。

- ・連盟から5万円の活動資金が入金される。
- ・宮島喜文を励ます会が12月にあり、三宅会長、山口副会長、豊田会計部長が参加した。
- ・一般社団法人としての技師会がパーティー券を購入することに問題がないか選挙管理委員会に確認をしたところ、問題はないとのことである。
- ・日臨技より平成27年度臨時総会議決権行使書回収手数料として1票につき100円、138,870円が静臨技に臨時収入があった。この臨時収入を有効利用して2万円のパーティー券を5枚購入していきたい
  - 承認
- ・日臨技理事の山口副会長は、既に自主的に後援会に参加していますので、当県も出来るだけ協力して行きたい

#### 4. 部局報告

##### 1) 広報部（鈴木副会長）

別冊資料により説明

- ・会報1月号を配布した。近々2月号を配布する予定である。

##### 2) 組織部（山口副会長）

別冊資料により説明

###### ① 各種表彰の候補者推薦について（山口副会長）

- ・日臨技「優秀論文賞」の候補者推薦書を作成した。推薦論文は山口孝一氏（静岡赤十字）の「褥瘡発症を予測するOHスケールとN-L比の比較」としたい。
  - 承認
- ・結核研究奨励賞、福見秀雄賞、小島三郎記念技術賞の候補者推薦については対象者無しで報告済みである。
- ・日臨技より第2回「山上の光賞」の候補者推薦の依頼があった。

###### ② 会員名簿について（杉澤理事）

- ・回収済みの旧名簿234冊を廃棄、ヤマト運輸にて溶解処理をした。金額は5,541円（3箱）であり証明書を添付した。

###### ③ 求人情報掲載について（杉澤理事）

- ・新規掲載依頼が10件、削除依頼2件があり、ホームページ等を更新した。

###### ④ 2015年度スタートアップ研修について（市川理事）

- ・募集が完了し、37名の応募者があった。参加者は理事16名を含め53名となる。

- ・実施計画書案（進行表案）を作成し、担当を分担した。各自確認し、研修会での協力をお願いしたい。
- ・参加者には受理案内を2月の会報に合わせて送付する。

⑤ 技師連盟関連、活動報告（山口副会長）

- ・宮島喜文後援会の募集は継続しているが、申し込み方法に変更がある。
- ・FAXにて後援会事務所に各自送信していたものを、各県で取りまとめて月に一度の報告に変更される。ただし、申し込み用紙の形式が提示されていないので、しばらくは現状通りで構わない。

⑥ 記念式典について（組織部）

- ・65年記念式典に向けての準備に取り掛かる。
- ・県知事表彰の申請書類を作成していく。

3) 学術部（菌田副会長）

別冊資料により説明

① 学術部門長会議について

- ・平成28年度学術部門長会議を平成28年4月2日の13時より「あざれあ」にて開催する予定である。

【内容】

- ・静臨技会長挨拶
  - ・静臨技理事役員および学術部門員の紹介
  - ・プロモーションコードについて
  - ・学術部門会計処理について
  - ・講習会申請手続きについて
  - ・平成28年度 学術部門事業予算案について
  - ・平成30年度日臨技医学検査学会（静岡県開催）について
  - ・第6回 静岡県医学検査学会の概要について
  - ・その他
- ・日臨技の補助がないので、3月の研修会は可能な限り避けること。
  - ・事前打ちは会議の費用として、研修会費とは区別すること。
  - ・予算に関しては理事会承認が必要となる。予め分かっている研修会費は年間予算に計上し、大幅な超過にならないようにする。

② 静岡県精度管理について（清水理事）

別冊資料により説明

- ・今年度参加施設一覧を添付した。成績検討会の参加者は398名（検査技師、賛

助会員は 389 名)、参加施設 114 施設 (成績検討会参加 81 施設 : 参加率 71%) であった。

- ・平成 28 年度 第 33 回静岡県臨床検査精度管理調査の年間予定、成績検討会を提示した。精度管理成績検討会は 11 月 23 日 (水・祝) を予定している。
- ・平成 28 年度 第 33 回静岡県臨床検査精度管理調査実施要綱、参加募集要項を提示した。
- ・Web 上での申し込み手引きを提示した。
- ・委託先のエッチ・アンド・ティーからの平成 28 年度静岡県臨床検査精度管理調査設定費用一式 (JAMTQC 設定費用) の見積書 108,000 円を添付した。
- ・精度管理・データ標準化事業システム (JAMTQC) の使用申請書を作成したので検討いただきたい。  
→ 承認

本年度の反省点から来年度に向けて

- ・6 階の貸切により受付の混雑が解消された。(来年度も小ホールを貸借する。)
- ・大ホールのワイヤレスマイクを 2 台から 5 台に増設したい。
- ・部屋割は本年同様としたい。
- ・参加者が多く、500 部では不足したため報告書を増刷したい。

### ③ 衛生検査所・地区委員会調査指導員の選考について

- ・衛生検査所・地区委員会調査指導員として菌田学術部長と清水理事を継続して推薦する。  
→ 承認
- ・任期は 1 期 3 年で 2 期が限度となる。菌田学術部長と清水理事とも 2 期目となるので、次期は役員を変更しなければならない。調査指導員の選考規定があることを踏まえて候補者を検討する必要がある。

### ④ その他

- ・JCCLS (日本標準化協議会) 共用基準範囲への移行を促進していきたい。(県立総合病院での変更に伴った資料を添付した。)
- ・日本臨床検査医学会より「臨床検査のガイドライン」が出版され、臨床検査のガイドライン 2015 についてのアンケートに協力のお願いがあった。

### 4) 会計部 (豊田会計部長)

別冊資料により説明

- ・日臨技より平成 27 年 11 月締め分の会費 16,500 円の送金があった。12 月締め分は 0 円であった。



- ・生涯教育推進研修会助成金として12月28日付けで126,500円、1月29日付けで134,000円の送金があった
- ・平成27年度臨時総会議決権行使書回収手数料として138,700円が入金された。

#### 積立金について

- ・中部学会（学会用として来る全国学会、6年後の中部圏学会のため）積立50万円、検査展積立100万円を積み立てていく。  
→ 承認

#### 5) 事務局より（伊藤事務局長）

- ・臨床検査専門紙「ザ メディカル&テスト ジャーナル」編集部より、2月13日に開催する組織強化セミナーおよび次期参院選に向けての決起大会の取材依頼があった。
- ・郵送にヤマト運輸を利用しているが、ゆうメールから見積もり提案があった。重量により有利、不利があるので、賄える金額で定期的な見直しを検討していく。
- ・キャノンからIT支援サービス、中部電力からおとくプランの提示があったが今回は見合わせることにする。

#### 5. 臨薬協 プロモーション地区会

- ・日本臨床検査薬協会よりプロモーション地区会開催の案内があった。

#### 6. 祝賀会、式典、集いなど

- ・鈴木勝彦先生の旭日小綬章祝賀会の案内があり、藺田副会長に出席していただくこととする。
- ・富山県臨床検査技師会の記念式典の案内があり、三宅会長に出席していただくこととする。
- ・塩谷立衆議院議員の「2016新春の集い」の案内があり、山口副会長に出席していただいた。

#### 7. その他（病院協会、案内、イベント）

##### 資料により説明

- ・静岡市役所固定資産税課償却資産係より償却資産の申告についての案内があった。
- ・宮島喜文後援会より宮島喜文ポスター掲示の依頼があった。
- ・第65回日本医学検査学会運営事務局よりポスターの送付があった。

- ・静岡県医師会より「国民医療を守るための静岡県総決起大会」についての礼状が届いた。

- ・静岡県病院協会より「第55回静岡県病院学会」抄録集が届いた。

- ・静岡県立総合病院より「富士山の日後援会」開催のお知らせがあった。

- ・第53回関甲信支部・首都圏支部医学検査学会の案内が届いた。担当は山梨県臨床検査技師会である。

- ・静岡県放射線技師会より県民を対象とした新春公開講演会開催の案内があった。

- ・第65回東海エコーカンファレンスのプログラムが届いた。

- ・平成28年2月・3月・4月の行事予定を提示した。

- ・平成27年12月および平成28年1月分の会員異動について名簿を提示した。

→ 承認

#### 8. その他〔伊藤事務局長〕

- ・役員改選の公示の時期となった。各支部長は次期役員として各支部5名（副会長、常務理事、理事3名は必須、3役と監事2名は別枠）を候補者を選出しておくこと。

- ・次年度は役員改選の年である。各支部で2月中に新理事推薦状、20名の推薦者を整えておくようお願いする。

- ・3月末までに役員候補者選考委員に申請をお願いしたい。

- ・監事および選考委員は理事経験者という条件があるので注意していただきたい。

- ・同時期に学術委員の改編もあるので注意していただきたい。

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 三宅 和秀

氏名 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人

三宅 和秀 鈴木雅人 菌田明広  
山口浩司 榛葉智之

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印